



野生植物研究所だより



● 自然探検倶楽部 ●

さる6月25日(日)、大崎市古川公民館主催の第2回目の少年教育 自然探検倶楽部「シナイモツゴと植物についての勉強会」が開催されました。

【鹿島台小学校・公民館で勉強会】

9時過ぎ、マイクロバス2台で鹿島台小学校に向かいました。到着した時には、シナイモツゴ郷の会の安住祥会長さん他2名の役員の方が待っていてくれました。さっそく、鹿島台小学校の玄関の前の方にあるビオトープのそばで安住祥会長さんからのあいさつがあり、役員の方から説明を受けました。

鹿島台小学校では、4年生がシナイモツゴ郷の会の方より指導を受けシナイモツゴの卵から孵化した後の観察や世話、育ったものは放流まで行なうなどの活動しながら保護活動等の勉強をしているということです。説明の後、ビオトープを見学しましたが、まだ孵化したばかりということで、のぞいてみても稚魚は見つけれませんでした。その後、鹿島台公民館へ移動。議会議場として使用されていたという部屋で、佐藤孝三公民館館長さんよりシナイモツゴ保護活動に対するシナイモツゴ郷の会の取り組み等についてスライドを使用して説明していただきました。また、三浦役員さんからは、ヒシ栽培への取り組みについての話もしていただきました。その後、水槽で飼育されているシナイモツゴを見て公民館を後にしました。



安住会長さんのあいさつ



シナイモツゴ(♂)体長約8cm

【いこいの森で植物観察】

11時30分過ぎ、いこいの森に着きました。昼食をとる場所まで20分ほど林道を歩きました。

道端には、ヘビイチゴとヤブヘビイチゴの実がいっぱいなっていました。スイカズラやウツボグサの花も咲いていました。植林されたビックリグミと別の種類のグミの木には実がたわわになっていました。クワの実もありました。

12時40分、いよいよ植物の観察です。私は常に、今の子ども達は、スイバを噛んだり、クワゴやモミジイチゴの実などを食べたりした経験がほとんどないので、できるだけ、そのような体験を取り入れたいと考えています。調度、グミの実が沢山なっていたので、自分で採って食べるという体験をさせるには絶好のチャンスでした。15分ほど、グミ採りをさせました。



ビックリグミ



ヤブヘビイチゴ



モミジイチゴ



グミとり



クズの葉で音出し遊び



土手登り

子ども達は、渋味のあるグミを何個も、甘いとか渋いとか話しながら、口に入れていました。

クワゴもなっていたので食べさせました。クズの葉では、音出し遊びをしました。

親よりも上手な子が何人も出てきました。モミジイチゴの実を見つけた子もいました。

ヤブヘビイチゴを食べ、ヘビイチゴよりずっと水っぽいと言う子も出てきました。

2時頃、バスの所に戻りましたが、天気にも恵まれ、今回の活動も親子にとってすばらしい体験になったのではないかと思います。

【連絡先】〒989-6252 宮城県大崎市古川荒谷字寶ノ子町 12-2 ☎ 0229-28-3601 FAX 0229-28-4452

Blog: <http://plaza.rakuten.co.jp/wakichi/>

E-mail: nagaguduwakichi@yahoo.co.jp

URL: <http://www.wakichi.com/>